

令和 5 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告

概要

サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修（以下「サービス管理責任者等研修」という。）を円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【活動方針】

- ・「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿 Ver.5」に基づき、研修内容を検討する
- ・基礎研修、実践研修、更新研修で使用する教材のブラッシュアップを図るとともに、研修全体を見渡し、つながりを意識した研修プログラムを作成する
- ・各研修ファシリテーター説明会の内容を検討する
- ・専門コース別研修（障害児支援）は前年度と同内容のプログラムで実施する
- ・令和 6 年度に実施する更新研修のプログラム案を作成する
- ・質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施する

【委員構成】

		氏名	所属
1	副委員長	会田 真一	社会福祉法人ひらイルミナル
2		岡田 哲也	社会福祉法人雲柱社
3		小出 由貴子	社会福祉法人友愛十字会
4		相良 宏司	社会福祉法人東京援護協会
5		清水 謙一	社会福祉法人まちだ育成会
6		丹澤 和美	社会福祉法人草むら
7	委員長	妹尾 和美	明星大学
8		徳武 孝	社会福祉法人足立邦栄会
9	副委員長	橋爪 亮乃	社会福祉法人さくらの園
10		樋口 勝	社会福祉法人本郷の森
11		皆川 直美	社会福祉法人からしだね
12	副委員長	宮田 理恵	特定非営利活動法人めぶき
13		横山 美紀	社会福祉法人府中市社会福祉協議会
14		吉田 遊佑	社会福祉法人イリアンソス
15		渡辺 哲男	社会福祉法人調布市社会福祉事業団

【各研修の検討体制】 ◎印：チームリーダー

検討チーム	委員
基礎研修	◎橋爪、岡田、相良、横山、吉田
実践研修	◎宮田、小出、樋口、渡辺、清水
更新研修	◎会田、丹澤、徳武、皆川
演習指導者養成研修	岡田、相良

・年4回の検討会以外に、各チームとも対面式やオンラインでの打合せを行った。

【活動状況】

	日程	検討事項
第1回	5月30日	委員長・副委員長選出 年間研修実施計画について 年間活動方針案及び計画案について 各研修検討チーム活動スケジュールについて つながりを意識した研修プログラムの作成について
第2回	8月30日	研修全体のつながりを意識した研修プログラムの作成 各研修検討チーム活動スケジュールについて
第3回	11月17日	令和5年度サービス管理責任者等指導者養成研修会受講報告 令和6年度更新研修の実施方法の検討 各研修検討チーム今年度及び次年度プログラムなどの検討
第4回	3月15日	年間のまとめ及び次年度への引継ぎ事項

活動成果

【活動成果1 研修プログラムの検討と教材作成】

- ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーションのポイントを伝えた。また研修後には振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集を行った。
- ・前年度までは感染防止のため演習をオンラインで実施してきたが、今年度は会場開催になることを念頭に、個人ワークで行っていたものを事前課題とし、グループワークで共有する内容に改めるなど、実施方法を見直した。

○基礎研修

- ・実践研修検討チーム提案のOJT案を元に、実践研修を受講するまでに取り組むべきOJT内容を演習ノートに示し、つながりを意識した資料作りを行った。

- ・前年度を踏まえ、講義部分や演習で使用する動画の再撮影を行った。また基礎研修は2回行ったが、2回目は1回目に出された意見等を元に資料のブラッシュアップを図った。
- ・令和6年度の研修に向けて、演習内容の検討及び資料の修正を行った。

○実践研修

- ・令和4年度のまとめを元に演習ノート及び進行スライドを見直し、分野が違っていても共通認識のもとワークに取り組めるよう動画や説明を新たに設けた。また具体的にイメージしやすいようにシートなどの修正を行った。
- ・演習時の資料を整理し、演習ノートと事例概要資料にまとめた。
- ・基礎研修で用いられた資料を進行スライドに入れて説明をするなど、研修間のつながりを意識した資料作成を行った。

○更新研修

- ・令和4年度と同様に、演習を1日に2日程実施するために、演習の一部を動画配信で実施した。
- ・令和6年度から実施するスーパービジョン部分を含めたプログラム案を作成し、教材作成に取り組んだ。

○専門コース別研修

- ・今年度も障害児支援をテーマとして、昨年度と同内容のプログラムにて、動画配信により2回実施した。

○演習指導者養成研修

- ・ファシリテーション技術やサービス管理責任者等研修制度の全体像、基礎研修の概要やファシリテーターとしての心構え等を理解した上で、基礎研修のファシリテーター説明会への参加や基礎研修の演習指導が資するよう、プログラム内容を検討した。
- ・検討チームとファシリテーションの外部講師で意見交換する機会を設け、ファシリテーションの概要だけでなく基礎研修で演習会場のファシリテーターに役立つ内容となるよう検討した。
- ・集合型研修で行ったため、受講者へのフォローがより行えた。

【活動成果2 講師の養成】

- ・演習講師や関係団体等からサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修への推薦者を募り研修を実施した。(修了者6名)。
- ・基礎研修、実践研修、更新研修の実施前にファシリテーターへの説明会を実施した。

【活動成果 3 つながりを意識した研修プログラムについての検討】

それぞれの検討チームにて、つながりを意識した研修プログラムの検討を行い、研修プログラムと資料への反映を行った。

【活動成果 4 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修への参加】

令和 5 年 9 月 13 日から 15 日に開催したサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修が開催され、基礎研修、更新研修、実践研修及び、意思決定支援、障害児支援、就労支援の 3 つの専門コース別研修のプログラムへ検討会委員 6 名と相談支援従事者研修検討会委員 1 名が参加した。受講の報告を第 3 回検討会で行った。また、研修で得た情報を研修プログラムに反映した。

【活動成果 5 その他】

基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修事業の受託者が、オブザーバーとして検討会に出席。各研修の実施状況等について報告するとともに、検討会での検討結果を踏まえて、各研修を実施した。

次年度の取り組み

基礎研修	・OJTについて今年度、資料に盛り込んだ内容をベースにしつつ、管理者、受講者が共通理解のもとに取組めるようブラッシュアップを図り、実践研修につなげていく工夫をする。 ・個別支援計画作成の一連の流れについてより明確にし、理解が深まるようにする。 ・架空事例では学べない児童や重度の方の部分はコラムを追加したり、演習の中でファシリテーターからコメントを入れるなど行って、できるだけ情報提供することとし、本文については、なるべく分かりやすい作りで作成する。 ・ファシリテーターのコメントが効果的になるよう、コメントしてもらいたい内容を明確にする。
実践研修	・障害と児童分野との違いや、自立支援協議会などを知らない受講者がいることを踏まえた資料作成をしていく。 ・受講者が所属する事業所などの関係もあって個別支援計画を作成したことがないという受講者もいた。そうした受講者がいることをファシリテーター説明会で共有していく。 ・ロールプレイなどを入れ、分かりやすくする工夫はしつつ、時間的にタイトにならないよう意識していく。 ・今年度出た意見も踏まえながら、演習全体の流れを再検討することも含め、ブラッシュアップを図っていく。 ・ファシリテーター説明会をはじめ、演習のねらいなどについて分かりやすく伝えるよう工夫する。
更新研修	・動画配信と演習との連動性をより意識できる内容にしていく。 ・実践研修や基礎研修とのつながりを意識して、自立支援協議会など共通している内容の扱いについて検討する。 ・演習時の各ワークと事前課題が連動していることを受講者などが、より理解できる資料作成となるように意識する。 ・令和6年度から実施するスーパービジョン部分については、スーパービジョンの目的や定義づけなどを明確にした資料作成に向けて取り組んでいく。